
伝えたいこと

市川 なゆ汰

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
伝えたいこと

【Nコード】
N7927Z

【作者名】
市川 なゆ汰

【あらすじ】
秋軌 伊澄は新春から兄の柵木が教師をしている黒川学園に双子の兄と共に通うことになる。
そんな彼女の学園生活のなかで起こる小さな小さなラブストーリー

プロローグ&mp・キャラクター設定（前書き）

この物語に登場するキャラクター・団体などは空想です。実際に存在しません。

ブログ&キャラクター設定

伝えたいことは沢山あって

ひとつも言葉にできなくて

伝えたい思いは沢山あって

ひとつもカタチにできなくて

でも、そんなんじゃないんだってわかってる

わかってるはずなのに

伝えられるときに伝えなくちゃだめなんだよね…

キャラクター設定

秋軌 あき 伊澄 いずみ

新高校生になったばかりの15歳。しかし、15歳とは思えぬほどの知識と冷静さを兼ね備えている。

家族は兄が2人、弟が3人と、男づくしの家庭で生まれ、性格は男の子にちかく、髪もバツサリと切ったショートヘアで、身長175cmとおおきい。親は一度離婚し、13歳のとき再婚した。母親と一番上の兄とは血縁関係がない。

秋軌 あき 柵木 さつき

再婚して伊澄の兄となった。年は23歳で高校の教師をしている。身長186cmと大型で、その割にほっそりとした体型をしている。髪型は栗色のゆるふわで、メガネを掛けている。

秋軌 あき 海渡 かいと

伊澄の双子の兄として生まれる。頭はそこそこだが、伊澄と同じ学校に通っている。

身長169cmと、伊澄よりも低く、可愛いと呼ばれることがおおい。自身はコンプレックスらしい。髪型は藍色で、目にかかるほどの前髪。

柚木 ゆずき 寿 ことぶき

伊澄と同じ学校に通うともだち。ツインテールのセットに毎日30分以上かけるらしい。

咲良 さくら 優史 ゆうし

寿や伊澄の同級生。入試では主席入学。話しかけやすいフレンドリーな性格。

ブログ&mp・キャラクター設定（後書き）

*キャラクターが増えてくと思いますのでよろしくお願いいたします。

一話 伊澄目線

父親は頭の良いところに行きなさいという。

母親はあなたの好きなところに行きなさいという。

矛盾してる。

「あーちゃんっ！ねえねえ！」

キャピキャピとギャルギャルしい声を上げて私のもとに駆けってくるのは私の小学校からの友達、寿。

寿は昔からオシャレが好きでいつもフリフリのワンピースやらピンクのスカートやらを着て来ていた。

今は高校生というのもあり、化粧をうつすらとしている。

あんた、キャルっぱいんだから、もっとそういう人とするめばいいじゃない。

去年の冬、私がそういったのにもかかわらず、いつも私のところに来る。

「今日さっ、席替えてしょ！！うわぁアタシ咲良くんの隣がいいなあっ」

きらきらと目を光らせながらそう叫ぶ。

咲良はたしかにもてるけど、私は咲良はあんまり好きじゃないかな。

と思っも、そうは口に出せず...

「あっつやばっつ今日現国宿題あったっけ？」

「あったよ」

ばらばらとノートを捲りながらさりと私はいっ。

「レポートだよね？」

「うん」

下唇を噛みながらやばいと連呼する寿は、また宿題をやってこなかったのだろう。

まったく、いつもどおり困ってるね。

「あーちゃん...」

嫌な予感がした。

「写させてっ！...」

…やっぱり

「しょうがないな。」

現国のノートを手渡す。

「あつ、俺も見してくれ!!」

飛び込んだのは海渡で。

「はあ? やってこなかったのー? あははっわたしもーっつ」

あははと宿題をやりながら話す二人を放置し、私は小説を開いた。

「おはよう」

後ろから少し高めの透き通ったこえが聞こえる。

「きゃあつおはよお!!」

ああ、あいつか。

咲良くんだね、わかります。

「よお咲良!」

はい大正解。

「おはよ、秋軌さん」

「あ…？ああ、はよ」

適当に返事を返す。

がたっ

「ほーら、みんな、席つけよー」

・・・

「は、はあっ！？」

なんで、なん、え？なんで…柵木が…？

「あれっ、伊澄柵木が教師ってしらなかったの？」

となりでにやにやにやにやしてる海渡が言う。

「しらなかった…」

なんで、私、柵木のことけっこう苦手なのに……！！！！！！！！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7927z/>

伝えたいこと

2011年12月25日15時46分発行